

## 校長室より

本校は昭和17年、秋田県五城目実科高等女学校として設立され、戦後の学制改革を経て、昭和25年に秋田県立五城目高等学校としてスタートしました。今年で創立78年の歴史と伝統を誇り、1万2千余名の卒業生が県内外、各分野で活躍しております。かつて国内2番目の大きさを誇った湖「八郎潟」の東岸に位置する唯一の高等学校として、地域からの期待が寄せられている学校です。

本校の校訓は「真実」「克己」「規律」で、それぞれに「真実と正義を求め、人格を尊重し合う人間としての資質を伸ばす」「己に打ち克ち勉勵に努め、自主・自律の精神を養う」「社会的秩序や調和を重んじ、相互啓発・相互鍛錬に努める」という願いが込められており、生徒たちは日々の高校生活をとおして、それぞれが目標を実現すべく努力しています。

本校の隣を流れる清流「馬場目（ばばめ）川」のクリーンアップはこれまでに38回を数え、他にもお盆に開催される「きゃどっこまつり」や郷土料理「だまこ鍋」作り等の様々な活動を通じて、地域の方々との交流が郷土愛や幅広い視野を育てています。湖東地区以外から通学する生徒たちも、五城目の自然や文化に触れ、秋田の懐の深さを感じています。

こうした本校の教育活動をとおして、将来の秋田県や日本を支える人材を育成することが本校に課せられた使命だと考えます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、今後の教育活動がどのようになっていくのか先が見通せない部分もありますが、地域の方々のお力もお借りしながら、本校が地域に愛される学校としてさらに成長していくことができるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年4月

秋田県立五城目高等学校長 柘植 敏朗